

「アースミュージアム」プロジェクト

岩本 泰^{*1}・梶井龍太郎^{*2}・室田憲一^{*1}・藤巻裕之^{*3}・木下理仁^{*4}

1. はじめに

本プロジェクトは、教養学部学生が環境・芸術・国際の3専門領域を横断するテーマで幅広い視野と共通の理解を深めることをめざしている。授業のねらいは、以下のとおりである。

私たちが暮らしている地球。私たちが便利で快適な生活をおくることができるようになった一方で、明日の暮らしが保証されていない人々も、この地球上で同じ時間を過ごしている。そうした問題の本質に、日本で暮らしている私たちのライフスタイルが深く関係しているとしたら、私たちは何を考え、これからをどう生きるべきなのだろうか。

この授業では、過去を学び、現在を見通し、未来を想像し創造する力、すなわち豊かな「人間力」の獲得を目的として、先進的に活動をしている人を招聘したイベント（講演会等）に参加する活動を通して自ら考え、集い、挑み、成し遂げる体験により、履修した学生が社会で活躍する人材に成長することをめざしている。その上で、商業的な利益や経済的な効率に対して批判的思考を持ち、一人一人が共に生きることができる公正な地球社会づくりへの参加に向けた具体的な行動（Action）へのきっかけづくりの場とすることを目的とする。

本年度の授業コンセプトにおいては、前年に引き続き「身近なものの世界とのつながりを考える」であった。

2. 授業の展開

人間学1は、プロジェクトコア教員に加えて、芸術学科デザイン学課程の戸谷毅史氏を加えて、5人の専任教員でそれぞれの専門性からの講義を実践した。環境・芸術・国際3領域を横断する多様なテーマでオムニバス形式により授業を展開した。教養学部3年次以降の自己形成科目である「人間学2」の一環としては、人間学1で展開した授業トピックの中で、特にフェアトレードや国際協力といった具体的なテーマを設定し、プロジェクト授業を展開した。前年

受理日2016年11月23日

*1 教養学部人間環境学科自然環境課程 *2 教養学部芸術学科音楽学課程

*3 政治経済学部政治学科 *4 教養学部国際学科

までのプロジェクトの成果として、私たちの身の回りにある特に食品や衣類は、生産現場とグローバルにつながっていて、そのサプライチェーンに様々な問題が含まれていることが明らかになった。サプライチェーンとは、ある商品の原料が生産されてから、消費者の手に届くまでのつながりをさす概念である¹⁾。先進国における加工食品や衣類産業は、非常に複雑なサプライチェーンによって成立している。しかも、ここ数十年の間に、輸送、技術、通信などが急速に発達したため、サプライチェーンが非常に長くなりつつある。ある国で生産された製品が、さらに別の国で加工され、さらに別の国で包装され、世界中で販売されるといったことが日常的な事象となる。サプライチェーンが長くなればなるほど、輸送費などが高くなる。それでも開発途上国から先進国へのサプライチェーンはさらに長くなり、その一方で発展途上国の労働者が劣悪な環境破壊や・衛生状況にさらされている。特に、労働者の児童労働や人身売買などの人権侵害は、このまま放置できないまったなしの問題である。こうした誰かの犠牲により、私たちは便利で安価な商品を手に入れている、という現実の上に現代社会がなりたっている。まさに、持続不可能な開発、といった状況にさらされているのである。

こうした問題を解決すべく、1980年代にオランダで新しい貿易認証制度が誕生した。生産物の最低買い取り価格と安全な労働環境を保証し、発展途上国で働く人々の生活を改善するシステム、フェアトレードが広がりつつある²⁾。フェアトレードは、発展途上国の作物や商品を適正な価格で継続的に購入することにより、開発途上国の人々の生活改善と自立をめざす貿易の仕組みである。もともとフェアトレードがはじめたのは、1960年代のヨーロッパだが、オランダで1988年に貿易認証制度として確立した。その制度の下、フェアトレードラベルがつけられたメキシココーヒーが発売された。その後、そのラベルがついた商品を買えば、発展途上国の人々を支援できることが知られるようになり、世界に広まっていった。現在では、イギリスでフェアトレード財団ができたり、アメリカの他いくつもの国でいろいろな団体ができたりしている。日本では、特定非営利活動法人 フェアトレード・ラベル・ジャパン (FLJ) がフェアトレードラベル認証事業を展開し、また本授業において前年協力をいただいたピープルツリーは、フェアトレード商品を扱う専門企業である。フェアトレードで扱われる商品も、コーヒーやチョコレート、紅茶、砂糖、バナナなど身近な食品や衣類など多様である。

消費者が商品を買うということは、販売する小売店や企業に消費者が欲しいもの、必要なものを伝えていることを意味する。一消費者がフェアトレード商品を買っても、その影響力は限定的だか、一方でこうした消費行動が大きくなるとなり、多くの消費者が買うようになれば、小売店や企業にプレッシャーをかけられる。すなわち、買い物で世界を変える可能性がある。

近年の日本では、「安心、安全」を求めて消費者が組織した生活協同組合（生協）、大型ショッピングモールを展開するイオンなど、小売りの現場に変化の兆しがある。また、市民団体、学校、お店、企業、行政など、地域をあげてフェアトレードの輪を広げる市町村を「フェアトレードタウン」として認定する制度も存在する³⁾。2011年6月に、熊本市は日本初の「フェアトレードタウン」に認定されている。アジア全体でも初、世界ではちょうど1000番目、という節目であった。また、2015年9月に名古屋市は日本で2番目の「フェアトレードタウン」に認定された。日本では、こうした認証について独自の6基準（図1）がもうけられ、一般社団法人

基準1：推進組織の設立と支持層の拡大

フェアトレードタウン運動が持続的に発展し、支持層が広がるよう、地域内のさまざまなセクターや分野の人々からなる推進組織が設立されている。

〈指標：フェアトレードタウンを目指すことを規約等で明示した推進組織が設立されている〉

基準2：運動の展開と市民の啓発

地域社会の中でフェアトレードへの関心と理解が高まるよう、さまざまなイベントやキャンペーンを繰り返し、フェアトレード運動が新聞・テレビ・ラジオなどのメディアに取り上げられる。

〈指標：各種のイベント・キャンペーンが行われ、メディアに取り上げられている（複数あればよい）〉

基準3：地域社会への浸透

地元の企業や団体（学校や市民組織）がフェアトレードに賛同し、組織の中でフェアトレード産品を積極的に利用するとともに、組織内外へのフェアトレードの普及に努めている。*「地元の企業」には個人経営の事業体等も含まれ、「地元の団体」には学校・大学等の教育機関や、病院等の医療機関、町内会・商工会等の地縁組織、各種の協同組合、労働組合、寺院・教会等の宗教団体、福祉・環境・人権・まちづくり分野等の様々な非営利・非政府団体（NPO・NGO）が含まれる。

〈指標：複数の企業、複数の団体が組織内でフェアトレード産品を利用し、組織内外への普及をしている〉

基準4：地域活性化への貢献

地域の生産者や店舗、産業の活性化を含め、地域の経済や社会の活力が増し、絆きずなが強まるよう、地産地消やまちづくり、環境活動、障がい者支援等のコミュニティ活動と連携している。

〈指標：種々のコミュニティ活動と連携・連帯した行動が取られている〉

基準5：地域の店（商業施設）によるフェアトレード産品の幅広い提供

多様なフェアトレード産品が地元の小売店や飲食店等で提供されている。フェアトレード産品にはFLO（国際フェアトレードラベル機構）ラベル認証産品とWFTO（世界フェアトレード機関）加盟団体の産品、それに地域の推進組織が適切と認めるフェアトレード団体*の産品が含まれる。*「適切と認めるフェアトレード団体」とは、少なくとも以下の条件を満たしている団体のことをいう。a) WFTOの10原則、ないしWFTOとFLOが共同で定めた「フェアトレードの原則に関する憲章」が掲げる5原則に立って活動している（付属資料1、2参照）。b) 事業の透明性が確保されている。

〈指標：1）2品目以上のフェアトレード産品を提供する店（商業施設）が、人口3万人未満は2店以上、3万人以上は1万人あたり1店以上ある。ただし、フェアトレードの推進・普及を主な目的とする店（売上ないし取扱品目の半分以上をフェアトレード産品が占める店）が1店以上あること。2）各店は2品目以上提供することを基本とするが、1品目だけの場合は0.5店として扱う（品目の数え方は付属資料3を参照）。3）フェアトレード産品が年間6ヵ月以上提供されている。〉

基準6：自治体によるフェアトレードの支持と普及

地元議会がフェアトレードを支持する旨の決議を行うとともに、自治体の首長がフェアトレードを支持する旨を公式に表明し、自治体内へのフェアトレードの普及を図っている。

〈指標：地元議会による決議と首長による意思表示が行われ、公共施設や職員・市民へのフェアトレードの普及が図られている〉

図1：フェアトレードタウンになるための日本の6基準⁴⁾

人日本フェアトレードフォーラムが認定する仕組みがある。

当該年度は、改めてこうした問題に取り組むステークホルダーとのネットワーク構築を目指し、日本で3番目のフェアトレードタウン認定を目指していた逗子市／逗子フェアトレードタウンの会に協力連携するネットワークづくりの成果を得た。逗子市では、市内におけるフェアトレードの普及・啓発を目指し、フェアトレードタウン連続講座（図2）を開催していた。本年度は、学内での関連分野の学習活動を授業担当教員で実施し、その上で本連続講座のうち、実践編公開講座「フェアトレードな暮らしとまちづくり」に履修学生・教員が参加、一般参加者と意見交換の機会を得た。また、国際協力については、エコプロダクツ2015に環境教育実践報告の成果発表として初出展したJICA 青年海外協力隊事務局と連携した。

あなたも“フェアトレード・マスター”になれる！

日本で初めてのフェアトレードタウン連続講座 受講者募集！

フェアトレードのさまざまな「現場」で活躍する魅力あふれるゲストを迎え、毎回、ワークショップ等を楽しみながら楽しく学び、語り合う連続講座です。

6回以上参加した方には「フェアトレード・マスター」の認定証が授けられます。

理論・基礎編

会場 (株)キリガヤ 時間 14:00~17:00 会費 名額 1,500円 (8回 10,000円)

- ① 6/6(土) 貧富の差はどこから生まれるのか〜世界のアンフェアな仕組みって、なに？
長坂秀久&磯野昌子(道子フェアトレードタウンの会)
- ② 6/27(土) 私たちの暮らしを支えているのは誰かーフェアトレードって、なに？
長坂秀久&内山智子(道子フェアトレードタウンの会)
- ③ 7/18(土) 世界とつながるまちづくりーフェアトレードタウンって、なに？/韓国事例紹介
長坂秀久&筑田祐子(道子フェアトレードタウンの会)
- ④ 8/8(土) フェアトレードと企業の社会的責任
中島佳織(FIJJ事務局長)&泰山三恵子(道子フェアトレードタウンの会)

実践編

会場 (株)キリガヤ 時間 14:00~17:00 会費 名額 1,500円 (8回 10,000円)

- ⑤ 8/29(土) エシカル・ムーブメントとフェアトレード
末吉里花(エシカルコーディネーター)&森田恵(道子フェアトレードタウンの会)
- ⑥ 9/19(土) フェアトレード・ショップのつくり方
鈴木隆二(ぐさぐるーぷ代表)&長谷川舞美(パッチワーク/スペースナナ店长)
- ⑦ 10/3(土) フェアトレードタウンのつくり方
原田さとみ(フェアトレード名古屋ネットワーク代表)&
木下理仁(道子フェアトレードタウンの会)
- ⑧ 10/24(土) 道子フェアトレードタウンの会の活動展開とワークショップ

公開講座(無料)

会場 道子小学校第2音楽室・児童会室 時間 14:00~17:00

- ⑨ 11/7(土) フェアトレードな暮らしとまちづくり
小野寺愛(ピースポート子どもの家)&末吉里花(エシカルコーディネーター)

参加申込み方法

道子フェアトレードタウンの会(担当:内山、田中)宛てに、電子メールで①お名前 ②電話番号 ③参加日 ④ひと言自己紹介
(この講座に興味をもった理由、お仕事など自由に)左お知らせください。メールの送り先: f1tzushi.kouza@gmail.com
※メール送信後5日経っても返信がない場合は、お手数ですが再度、ご連絡ください。

第9回(公開講座)のみ、道子市 申込・問合せ:電話・ファクス・メール又は道徳社会教育課へ
メールの送り先: syokaiyoutiku@city.zushi.kanagawa.jp 電話: 046-872-8153(直通)ファクス: 046-872-3115
※ファクス・メールでお申し込みの際は、氏名・住所・電話番号をご記入ください。

主催 特定非営利活動法人道子まちなかアカデミー&道子フェアトレードタウンの会
後援 道子市 道子市教育委員会 公開講座は、道子市教育委員会と共催
お問い合わせ 090-6114-1748(田中)

図2: 連続講座広報チラシ⁵⁾

3. おわりに

2016年7月、逗子市はこれまでの努力が実り、日本で3番目のフェアトレードタウンに認定された⁶⁾。一方で、本認定は3年に一度地域での実施状況について外部評価される。すなわち、持続可能に取り組むことが期待されており、本学のプロジェクトと今後継続的に連携していく道筋ができた。関わった学生も、国際協力と地域貢献という両面で、大きな学びの意義がある。

4. 謝辞

本実践は、2015年度の東海大学教養学部教育研究補助金により実施された。関係各位に感謝申し上げます。また、逗子フェアトレードタウンの会関係者の皆様には、本プロジェクト実践において学生にあたたかいご助言をいただいた。ありがとうございました。

注

- 1) ケイティ・ディッカー, 信じられない「原価」 買い物で世界を変えるための本 3 食べ物, 講談社, p.10
- 2) 前掲書, p.40
- 3) 渡辺龍也, 考えよう! やってみよう! フェアトレード 3 日本のフェアトレードの現状ときみにもできること, 彩流社, pp.18-19
- 4) 以下 HP を参照。
<http://www.fairtrade-forum-japan.com/> フェアトレードタウン /
- 5) 以下 HP を参照。
http://www.machiaca.net/calendar/images/ftt_01.pdf#search=%27E3%83%95E3%82%A7E3%82%A2%E3%83%88E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%89E3%82%BF%E3%82%A6%E3%83%B3E9%80%A3%E7%B6%9A%E8%AC%9B%E5%BA%A7%27
- 6) 以下 HP を参照。
<http://fttzushi.jugem.jp/?eid=123>